



パラオ通信

No.5 3/20/2019

JICA 海外協力隊 SV 天野久雄

「私はこのようなものを作っています」JICA（ジャイカ）隊員の歓迎会で、水谷さんが私にスマホ写真を差し出しました。水谷さんは技術指導でパラオに来ている人です。私が見たのはパラオの伝統建築物，アバイのオブジェでした。それは幻想的で興味深いものでした。

さっそく後日、水谷さんがガラス工芸のボランティア活動しているリサイクルセンターを訪問しました。ペットボトルやアルミ缶，空き瓶などを回収してリサイクルする施設です。日本政府が一部の機械の支援をしていて，パラオ水族館のすぐ近くにありました。



事務所に行くと，日本人スタッフの藤（ふじ）さんが案内されました。藤さんは 2004 年から JICA(ジャイカ)の海外協力隊員としてこちらで活動されました。そのあとコロール州職員としてこの事務所で働いておられるコンサルタントです。まずは藤さんの話から。

パラオは人口 2 万人ほどの島国です。島国であるパラオは食料品をはじめ多くの品物を輸入しています。これらが消費された後の飲料容器やプラスチック，そのほか有機廃棄物などを低い環境負荷でどのように処理するか。それが観光立国と資源循環型社会の両立を目指す重要な課題です。

コロール州では，廃棄物の有効活用を目指したプロジェクトが稼働中です。生ゴミや有機廃棄物を原料としたコンポストの製造，空き缶や空き瓶を利用したガラス工芸，廃プラスチックを利用した油化発電などがあります。ここで作られた肥料は有機農園に配られます。日本のガラス工房の人たちも，ガラス工芸を教えるためにこちらに来ています。

パラオの人たちは絵心があり器用です。また直観にも優れています。使う材料は空き瓶や板ガラスです。ガラス工芸にはいろいろな技法があるので，パラオの人たちがこの施設で学んでいます。



施設内部



この秋の 2019 年の 10 月には，ガラスクラフトセンター（仮称）がオープンする予定です。この種の施設としては，おそらくアジアでいちばん大きなものになります。オープンの際には海外から来賓の人たちがたくさん来られると思います。

このような話をされて、藤さんは施設の模型を見せてくださいました。

次にガラス工芸の説明を水谷さんから聞きました。水谷さんは兵庫県三田市にあるガラス工芸館で技術指導をしている人です。パラオでは JICA（ジャイカ）の海外協力隊員として、地元の人たちにガラス工芸を教えています。

ここからは水谷さんの説明です。

まず空き瓶を電気炉を使って 1400 度ぐらいで溶かします。色ガラスは、ここにあるコロナビール瓶を吹きガラス技法によって板ガラスにします。そのあと型紙通りにカットして研磨し、銅のテープを巻いてハンダ付けして仕上げます。どれもガラスを再利用した作品です。



これはカメはパラオ人のアーティスト、ジェイビーさんの作品です。パラオの海と生き物をテーマにしたスタンドグラスです。そのほかにも作品がありましたので紹介します。



いちばん右の写真は、空き瓶をそのまま加熱してフラットにして絵を描いたものです。上部に穴を開けて時計をはめ込むなど、これから工夫していくそうです。

このあと炉が置いてある工房を見学しました。

左の写真が電気炉です。内部の大きさは縦横25cmです。中央は製作中のガラス容器です。もういちど過熱して型に入れたりして成型するのだそうです。右はここで吹きガラスの体験教室を受講している人たちの作品です。

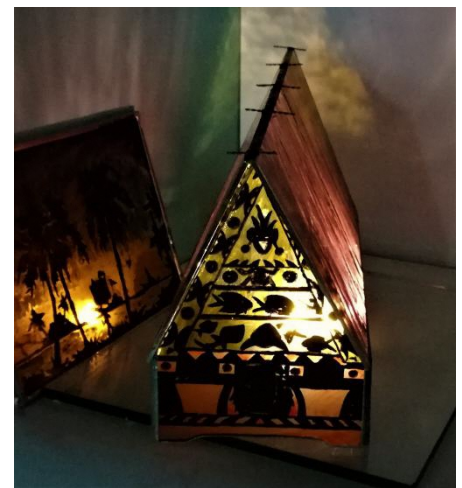


特に私に感動したのは次の2作品でした。左はナポレオンフィッシュのオブジェです。まだ試作段階だそうです。形を作るのが難しく、これにはヒビが入っています。迫力があって、完成したら素晴らしいものになると思いました。

右はパラオの伝統的建築物アバイの、ステンドグラス絵付けのオブジェです。ジェイビーさんの作品です。中から光を放ち、幻想的な雰囲気を出しています。水谷さんが歓迎会で私に見せたのはこれでした。先日、これと同じような作品が安倍総理大臣にも贈られたそうです。



ナポレオンフィッシュ



アバイ

パラオにはストーリーボードという有名な工芸品があります。マホガニーなど硬質の木材にパラオの神話などを彫り込んだものです。日本人の美術教師、土方久功先生がパラオ人にその技術を教えたのが始まりです。旅行ガイドブックやインターネット画像に紹介されているのでご存知の人も多いでしょう。それと同じように、パラオのガラス工芸も芸術作品として育っていくことを実感しました。

終りに

帰り道を車で走っていると、リサイクルセンターや隣接する処分場の壁にたくさんの絵が描かれていました。みんなでパラオの海をきれいにしようという気持ちがよく伝わります。

このイメージキャラクター「3Rヒーロー」は、12月のクリスマスパレードでも活躍していました。とても陽気なキャラで人気者です。その話は別のパラオ通信で紹介します。ご期待ください。



リサイクルセンターの壁画



3 R ヒーロー

後日にリサイクルセンターを訪れたら、いくつかの作品が完成していました。それを紹介します。またセンターは美しい海岸沿いにあるので周辺の写真も掲載します。



※ アバイはパラオの歴史的建築物で、バイともいいます。正面の三角形の壁面にパラオに代伝わる物語が彫刻や絵で描かれています。少なくなりましたが、バベルダオブ島のアイライ州に残っています。コロール島にあるベラウ国立博物館では復元されたものを見ることができます。

次回はパラオの学校行事、アウエアネス・ウィークの話です。